

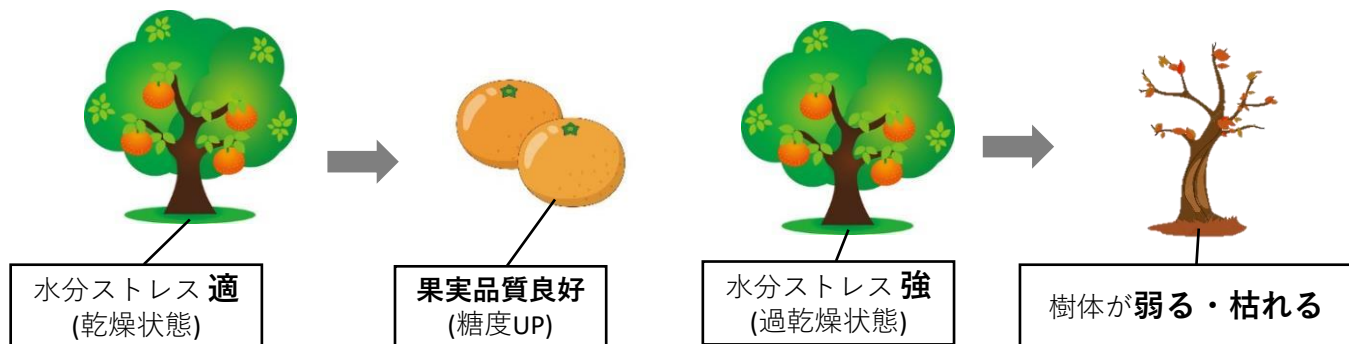
# ハウスマカンにおける反射型レーザーセンサによる樹体水分ストレスの推定

高知県農業技術センター果樹試験場 小原敬弘、杉本達哉、谷 大地

## 研究概要

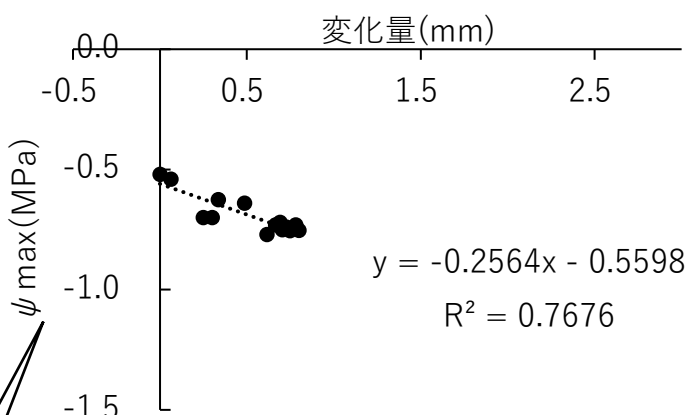
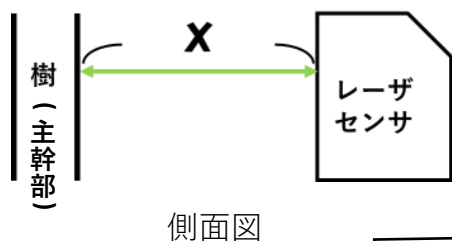
ハウスマカンでは、高品質な果実生産のために樹体の**水分ストレスをコントロール**する必要がある。

そこで、**反射型レーザーセンサ**により**主幹部側面との距離**を計測し、**距離の変化量から樹体水分ストレスを推定できるか**検討した。



**主幹部側面との距離の変化量**から樹体水分ストレス状態を推定できないか？

・ 反射型；距離の測定



**主幹部直径の変化量と葉内最大水ポテンシャル ( $\psi_{max}$ )**の間には強い**負の相関**がみられた。

## 今後の展開

樹ごとに主幹部側面との**距離の変化量が異なる**ため、**補正方法**について検討する必要があると考えられた。